

■ 介護職の一日について（特別養護老人ホームの場合）

【午前】

8:45 出勤、制服に着替える。



9:00 朝礼
出勤して最初に行うのが、夜勤スタッフからの申し送り。利用者の夜間の様子や特変事項について、細かく情報を共有します。今日すべき自分の業務を把握するとともに、他職種との動きも把握します。



9:30 入浴準備・誘導
歩行が不安定な方を浴室までお連れします。毎日お会いする利用者だからこそ、小さな体調の変化にも気づけるよう、普段から目を配り、気を配ることが大切です。



10:30 居室清掃
自分でできる利用者は自立支援のため、お声かけをしながら一緒に居室清掃を行います。お一人で過ごす時間が長い居室での事故を未然に防ぐためにもお部屋の環境はとても重要。お一人おひとりとじっくりお話できるいい機会でもあります。



11:30 食事準備・食事介助
毎食前に全員で嚥下体操を行います。おいしく安全に召し上がっていただくため、お声かけや見守りもしながら、お手伝いが必要とされる方の介助も行います。

【午後】

13:00 昼休憩



14:00 レクリエーション
レクリエーションは、カラオケやエアロビクス、習字や演劇鑑賞まで多彩。手足や頭を使ったり、楽しんで参加いただくことで介護予防にも繋がります。普段無口な方は実はカラオケが好きだったり、今まで知らなかった一面が見れるのもレクの楽しみ、お一人おひとりの趣味嗜好まで把握できるよう工夫しています。



15:00 勉強会
介護技術の確認や感染症対策、看護師による医療に関する講義など、各自がテーマを持ち寄り自主的に進みます。知識・スキルを向上し、お互いに切磋琢磨し合うことは、利用者により健やかに生活していただけることに繋がります。



16:00 ミーティング
業務の申し送りや、重要事項の共有をします。利用者お一人おひとりのケアの仕方や、困ったことなどがあれば、看護師もケアマネジャーも一緒に話し合い、解決していきます。



17:00 ケア記録
利用者の様子、症状の経過や実施したことについて記録し、みんなで情報共有できるようにします。フロア担当の日には、フロアで利用者の見守りも兼ね、お話をしながら記録します。

18:00 退勤

■ 介護福祉士とは

介護福祉士は、社会福祉士及び介護福祉士法に基づく、介護全般にかかわる専門職の国家資格です。介護福祉士の名称を用いて、専門的知識及び技術を活用し、身体上・精神上の支障がある人（利用者）に対して、心身状況に応じた介護を行い、利用者や家族介護者等に介護に関する助言や指導を行う国家資格です。介護の専門職として1987年（昭和62年）にできた制度で資格登録者は1,288,064名です。（2014年5月末日現在）

介護福祉士は、利用者の生活全般を理解し、介護に関する適切な判断力と行動力を持ち、よりよい人間関係を築けるコミュニケーション能力を身に付け、仕事に活かしていきます。高齢化が進む中、介護の中核を担う介護福祉士の役割はますます重要になっており、社会から期待されています。



国が認める介護のプロになるための資格だよ！

■ 介護福祉士の主な仕事について

介護福祉士は、おもに利用者の自宅を訪問したり、特別養護老人ホーム、身体障害者施設等の社会福祉施設の介護職員として介護業務にあたっています。また、介護業務のほか、在宅介護の場合は介護方法や生活動作に関する説明、介護に関するさまざま相談にも対応しています。

※利用者：介護等何らかの援助が必要な高齢者や障がい者

生活支援

身体介護のような具体的な介護とは別に、利用者の生活援助を行うこともあります。利用者の家に訪問して、利用者が自分で行うことが難しい炊事や洗濯、買い物などの家事を行います。



笑顔あふれる生活を送れるように一緒にサポート！

社会活動支援

利用者が介護を必要とする状態になった場合、自由に動けない等の理由により、身近な人間関係から孤立してしまうことがあります。人々の間をコミュニケーションを通じて取り持ち、社会の一員として穏やかで安定した生活が送れるよう支援します。



介護において人と人のつながりはとても大切！

相談・助言

利用者や、介護をしている家族に対しての助言や、介護に関する相談などを受け付けます。より良い形での介護や、利用者の自立した生活のために適切なアドバイスを行います。



暮らしの中のいろいろな苦勞に耳を傾ける！

身体介護

利用者の自宅や介護施設において身体介護を行います。日常生活を自分ひとりで行う事が困難な利用者の食事や排泄、入浴などの生活に関する様々な動作をそれぞれの症状の度合いや環境などに応じて介助します。



相手の気持ちを考える繊細な心づかいが大事！

■ まだある「介護福祉士」の魅力について

介護の専門技能である車イスの操作や、高齢者の移動や体位変換の技術、認知症の方への対応は、専門教育でしか学べません。身に付けた専門技術は、**将来の大きな親孝行にもつながる頼もしい能力の一つです。**

■ 「介護福祉士」の給与や処遇について

介護職の給与（月額）は平均18～20万円です（平成27年3月八ローワーク調べ、福岡中央）。ほとんどの四大卒の初任給と同等です。（平成26年8月人事院 職種別民間給与実態調査）
また、四大を卒業した社会人の方が入学される例も多数あります。介護職は、高齢社会を極める日本において、絶対に無くならない仕事と言われています。また専門技術を修得しておけば、どんな不景気にも職にあぶれることはありません。



「介護の仕事が大切なのはわかるけど、どんな仕事なのか今一つわからない」との問い合わせが多いこともあり、今回の「Welfare Campus News（福祉を知るためのキャンパスニュース）」を刊行することになりました。2ヶ月ごとの刊行になりますが、介護福祉士の魅力と教育の特色、将来への展望についてわかりやすく情報を提供したいと思います。みなさまからの御意見やリクエストもお受けしますので、遠慮なくお伝えください。（保健福祉学科・編集委員 Y.O）